



9月1日は防災の日です。全国各地で防災訓練が実施され、高岡市でも総合防災訓練が開催されました。立山砂防事務所からは、土石流体感3Dシアター体験、土砂災害の模型展示、土砂災害に関わるパネル展示を行いました。

土石流の恐ろしさを学んでいただくと共に、地元地域の「どこ」が危険なのか「いつ」リスクが高まるのか「どうやって」逃げるのかを家族、町内会等で確認する事の必要性を認識していただきました。

開催日時：令和元年9月1日(日) 9:30~11:30

場所：高岡市伏木地区、牧野地区

(伏木中学校\* 牧野小学校)\*立山砂防の展示

災害想定：呉羽山断層を震源とするマグニチュード7.4の地震

訓練内容：[防災関係機関]

災害・避難情報の伝達、避難者の誘導、ライフライン応急復旧活動、避難所給水活動、福祉避難所開設運営など

[地域住民]

各戸避難、自主防災組織による情報収集・伝達、安否確認、避難誘導、体験訓練(応急活動など)

土石流体感3Dシアター



土石流体感3Dシアターに並ぶ参加者



「防災に関する講演会」



約100名が体験！

土石流体感3Dシアター

土砂災害に関するパネル展示

パネルの解説により、近年の土砂災害を学ぶ訓練参加者



土砂災害模型展示

模型を使った土石流・地すべりがけ崩れの解説に、皆さん真剣に耳を傾けられていました。



土砂災害模型実演



パネル展示



土砂災害模型の展示